



体育大会を振り返って

9月22日(土)に体育大会が行われました。今回は「中学校生活最後の体育大会」ということで、練習から本番まで、様々な思いの詰まったものとなりました。作文「体育大会を振り返って」から、いくつか紹介します。みんなで思い出を共有しましょう。

最後の体育大会は、今までとは比較にならないほど、内容の濃いものでした。僕が特に印象に残ったことは、組体操です。体育大会のプログラムの最後ということで、練習のときから一生懸命取り組みました。僕は個人競技のスポーツをやってきたので、仲間と一緒に物事に取り組むということが、とても新鮮で楽しかったです。仲間と信頼し、自分の身を預ける、そして仲間は僕に身を預けてくれる、この過程があって初めて組体操が成功するというのを、身に染みて実感しました。練習時には、たくさんの先生方が補助として、僕たちを助けてくださいました。先生方がいなかったら、僕たちは安心して練習に取り組めなかったと思います。「信頼」という言葉の重みとすばらしさを知ることができました。

今回の体育大会は、時間が経つのがとても早く感じました。それだけ自分が体育大会を楽しんでいたのだと思います。しかし、僕がこんなにも楽しい思い出をつくることができたのは、たくさんの支えがあったからだと思っています。支えてくれた人に感謝し、これからも支えてもらえるような人間になりたいです。

(1組 北口くん)

私は、今までで一番良い体育大会になったと思います。しかし、初めの全校練習では、下級生が盛り上げる雰囲気だったり、3年生の歌や行進が完璧でなかったりと、また今年も「言われないとできない学年」になっていました。実際先生に怒られると歌も行進もよくなるのに、初めからやらなかったために、これで最後の体育大会本番を迎えても、良いものになるはずがない、と思っていました。だけど、学年での演技はすばらしいものになったと思います。今年は台風や雨などで、休校になったので、思うように練習時間が取れませんでした。だからこそ、一人一人の意識が高まっていったのだと思います。当日は、朝から水抜きなどがあったけれど、予定通りに行くことができ、女子は今までの成果を存分に発揮できました。男子の組体操は、男子の必死さ、根性がよく伝わってきました。今までたくさんのことがあったけれど、学年として一歩成長することができました。

クラスでは、むかで念願の優勝、総合3位を取ることができました。プレレースでは転んでしまったり、男子対女子で対戦したときも転んでいただけ、私の中では1位になる自信が満ちあふれていました。その理由は、練習でみんなが団結できていたからです。その通り、当日は優勝できたので、このクラスで頑張ってきたよかったです、心から思えました。

(2組 上田さん)

私は運動が得意ではないので、周りの人たちについていけない不安でした。しかし、最高学年として、思本になるために、人並み以上に一生懸命練習をして、見てくださる人全員に私の思いが伝わるように、という気持ちで臨みました。

「リズムなきなた&エイサー」は、とても難しかったです。なきなたの「振り返って面」は、なかなか速く回すことができず、悔しい気持ちに何度もなりました。けれど、頑張ろうという気持ちがあれば、少しは良くなると信じ、家で何度も練習しました。その結果、他から見れば、少しの違いかもしれませんが、私としては、初めに比べるとかなり速くできるようになったと思います。また、エイサーも、意外と難しく苦戦しました。しかし、練習するたびにできるようになり、最後には

技術にプラスして気持ちも込められるようになりました。

私は、今年の演技を通して、「あきらめない心」を持つことができました。この気持ちは、これからも持ち続けていきたいです。
(3組 藤井さん)

今年の体育大会は、順位は良くなかったけれど、すごく楽しめました。そんな体育大会の中でも、特に印象に残ったことがあります。一つは、看板作りです。看板の絵はとてもかっこよく、「腹が減っては戦ができぬ」という言葉が、このクラスらしくて良かったです。色を塗るときに失敗しても雰囲気が悪くなることなく、いつも声をかけあって笑っていられるのが、このクラスの良いところだと思いました。そうしてできた看板はとてもきれいに仕上がりに、先生方にもほめていただいたので、とても嬉しかったです。

もう一つは応援です。みんなすごく大きな声を出したり、うちわを使ったりしていました。去年よりもすごく盛り上がっていたので、その輪の中だけで楽しめました。バトンミスをしたり、順位が低かったりしても、文句を言うことなく、帰ってきた人をねぎらっているところが良いな、と思いました。みんなずっと雰囲気良く、それだけで言ったら他のどのクラスよりも良かったです。このクラスな合唱コンクールなど、これからの行事も、とてもおもしろくなりそうだと思います。
(4組 勝田さん)

開会式が終わり、800Mの招集がかかったときは、心臓が爆発するかと思いました。最後まで走りきろうという気持ちで走っていましたが、ひざの痛みが強くなり、思っていたペースでは走れませんでした。とても悔しかったけれど、最後まで走りきろうという気持ちは変わらず、最後まで全力を出して走りました。落ち込んでいる私を励ましてくれた友だちには、とても感謝しています。

生徒席にいと、クラスが団結して応援していることに気づきました。ふだん、岡田先生から「返事して」と言われている5組が自分たちのメンバーをしつかり応援していることに感動しました。また、学年全体も団結していました。女子の演技中は男子が真剣に見て、男子の組体操のときは女子が必死に応援していて、それが3年間みんなで頑張ってきた結果、成長だと感じました。最後の体育大会、結果は総合優勝。後悔のない、とても心に残る体育大会でした。

(5組 春名さん)

中学校生活最後の体育大会を振り返ると、全部やりきったという達成感と、最後なんだという気持ちで一杯になりました。友だちと走りに行って練習した1000M走や、むかで競走、3年生全員の心を「結」んで頑張った演技、練習から本番まで本気で頑張り、自分の力を出し切ることができました。

中でも一番思い出に残っているのは組体操です。最初はみんなの心もバラバラで、技の成功率も低かったです。ペアを替える話もありました。けれど、先生方からの言葉で、ペアの人との気持ちが一つになり、みんなの意識も変わりました。本番はとても緊張しましたが、周りの応援の声や、家岡先生、三浦先生の言葉で落ち着くことができ、みんな「結」の文字を背負い、入場しました。そこから演技を終え、先生方に感謝の気持ちを言ったところまでの記憶がなく、それくらい本気で頑張れたのかな、と思いました。

今回の体育大会で、僕らの「つぼみ」が笑顔の「花」を咲かせ、スローガンを達成することができました。合唱コンクールでもみんなの気持ちを「結」んで頑張ります。
(6組 齋藤くん)

☆大会結果☆

<総合の部>

優勝:5組

準優勝:6組

第3位:1組・2組

<むかで競走>

優勝:2組

準優勝:3組

第3位:6組

